



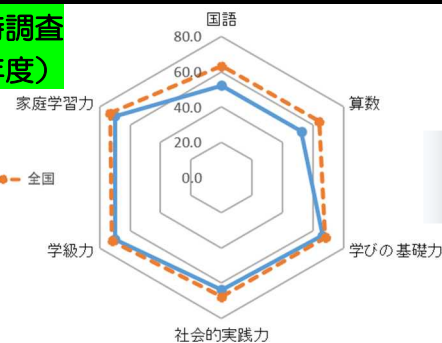
# 令和7年度 町学力検査（小学5年生，中学1・2年生）の結果と今後の展望

愛川町教育委員会

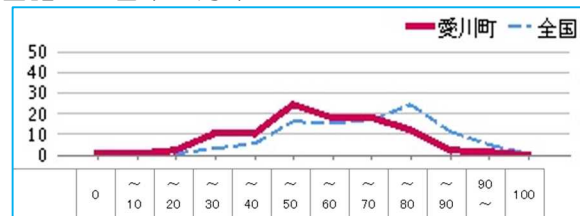
令和7年度に実施された小学5年生，中学1・2年生対象の町学力検査について，結果から見てくる町の小・中学生の課題とその改善策について，学校の先生方とともに，分析した結果と今後の展望を報告します。

現  
中  
学  
2  
年  
生

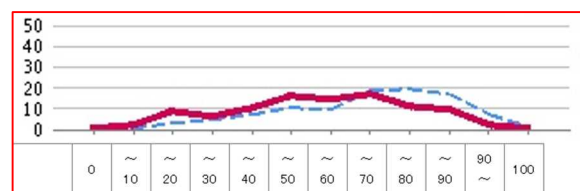
## 小学5年生時調査 （2022年度）



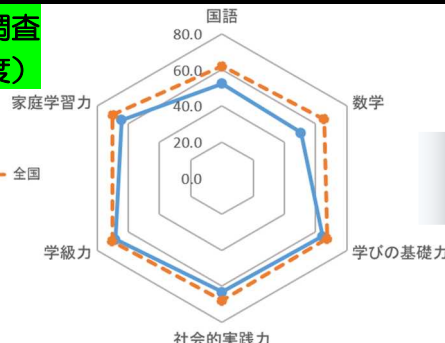
国語の正答率の分布



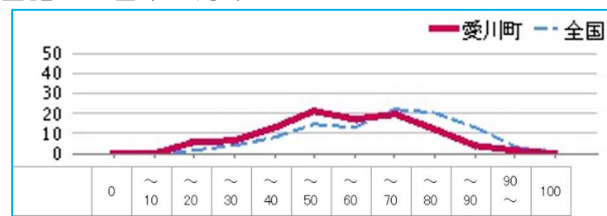
算数の正答率の分布



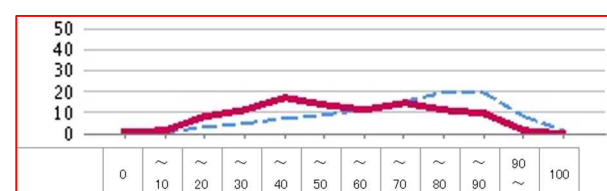
## 中学1年生時調査 （2024年度）



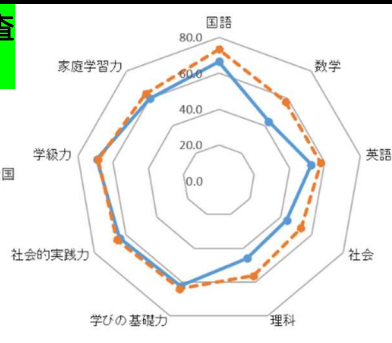
国語の正答率の分布



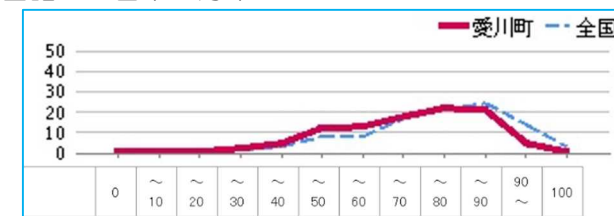
数学の正答率の分布



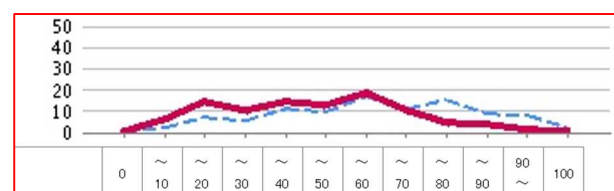
## 中学2年生時調査 （2025年度）



国語の正答率の分布



数学の正答率の分布



## 1 町内児童生徒の教科に関する調査結果

正答率の分布に着目すると，現中学2年生については，小学5年生時から中学1年生時を経て現在に至るまで，国語において正答率の分布が右側に推移し，文章内容の把握や根拠をもって説明する力の伸びが見られました。一方，算数・数学では，学年が進むにつれて得点の分散が広がる傾向が見られ，特に思考力・判断力を必要とする問題において，正答率の分散が大きいことが確認されました。

現中学1年生については，国語では分布の中心がやや右側に移行し，語句の意味理解や内容把握において，段階的な力の積み上げが進んでいます。算数・数学では，学習の定着に個人差が見られ，特に複数の情報を関連付けて考える課題場面において，解答に差が見られました。

現小学5年生については，国語・算数ともに分布が広く，基本的な知識・技能の定着に差が見られました。特に算数では，学習内容の習熟に差が生じやすい単元が見られることから，基礎的な事項の確実な習得と段階的な学習の積み重ねが重要と考えられます。

以上のことから，各校では，児童生徒の実態に応じた指導の工夫を進めるとともに，単元ごとのつまずきに応じた学習の充実や，「見方・考え方」を働かせながら課題解決に取り組む学習の充実を図り，個別最適な学びと協働的な学びの一層の推進を通して，学習の確かな定着を目指します。

## 2 町内児童生徒の意識に関する調査結果

左のレーダーチャートにある「学びの基礎力」「社会的実践力」「学級力」「家庭学習力」は，児童生徒の意識に関する調査の結果が反映されています。

意識調査の結果から，本町の児童生徒は，規範意識や基本的生活習慣に関する項目において，いずれの学年でも高い肯定回答割合が見られました。「あいさつや身だしなみを意識し，学校の決まりを守る」「友達に感謝を伝える」などの項目では，全国平均をおおむね上回っており，学校生活への積極的な姿勢や，他者との関わりを大切にする意識が育まれていることが示されています。

一方で，「自分の学習の計画を立てて取り組む」「家庭で自主的に学習する」など，主体的な学習や自己管理に関する項目では，全国と比較して肯定回答がやや低い傾向にあり，特に中学校段階において差が見られました。学習への動機づけや見通しをもった取組が課題として浮かび上がっています。

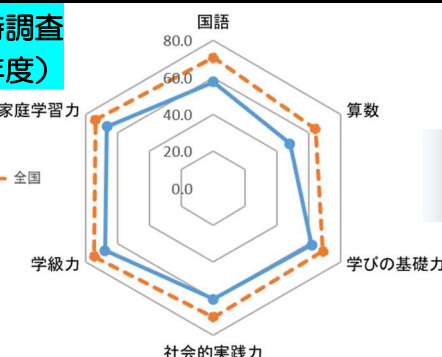
## 3 今後の展望

各校では，本検査の結果を踏まえ，児童生徒が「チャレンジしてみたい」「取り組んでみたい」と感じられる学習課題の設定や，家庭学習の習慣化を促す取組，少人数学習やペア学習で学び方を学ぶ機会を増やすなど，創意工夫を生かした取組を進めています。

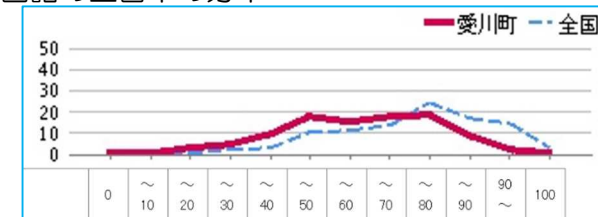
各校の実践内容を町内の小中学校で共有するとともに，学校間の接続を意識した教育活動を進め，家庭や地域と連携しながら，児童生徒が自らの学びを深め，力を伸ばしていくことができるよう，町全体で支えてまいります。

現  
中  
学  
1  
年  
生

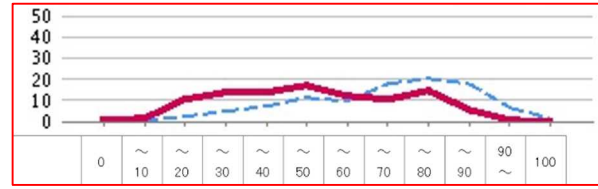
## 小学5年生時調査 （2023年度）



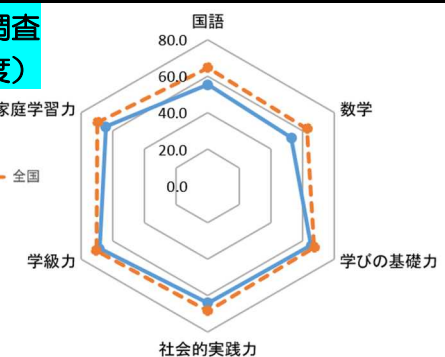
国語の正答率の分布



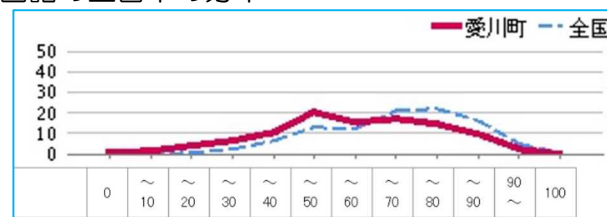
算数の正答率の分布



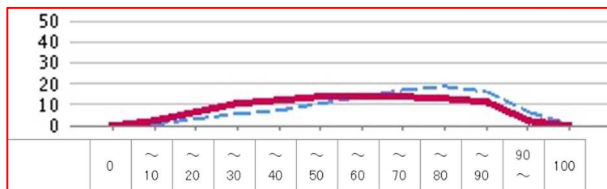
## 中学1年生時調査 （2025年度）



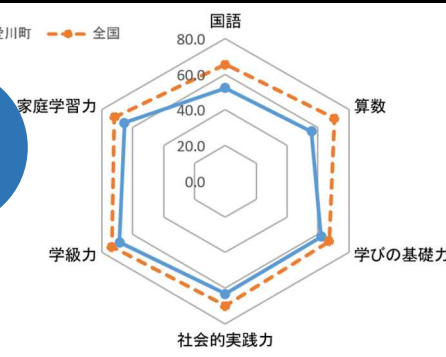
国語の正答率の分布



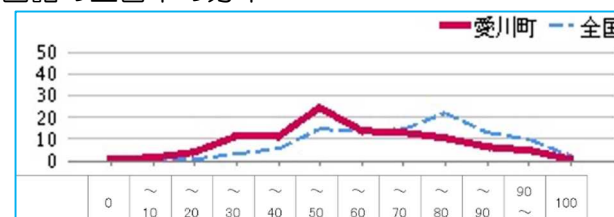
数学の正答率の分布



現小学  
5年生



国語の正答率の分布



算数の正答率の分布

